

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院において看護部で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

全身麻酔手術患者の術後悪心・嘔吐が術後疼痛管理に及ぼす影響

2. 対象となる方

当院において、2024年3月より2024年11月までに外科病棟へ入院し手術を受けた患者さん

3. 研究目的

術中および術後の制吐剤使用がPONV（術後悪心嘔吐）発生や術後疼痛管理に与える影響を調査し、患者さんがより快適に回復できるケアの方法を明らかにすることを目的としています。

4. 研究期間

2025年1月（倫理審査委員会承認後）～2025年3月（予定）

5. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録：患者背景（年齢、性別、病名）、手術情報（術式、麻酔方法）、術後疼痛管理データ（PCA流量、NRSスコア）、嘔気・嘔吐発生状況、制吐剤および鎮痛薬の使用状況

6. 実施方法

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんの氏名、カルテ番号、住所などが特定できない形で研究に使用します。匿名化された情報は研究責任者が厳重に管理し、外部への提供は行いません。また、情報の使用にあたっては、当院でのみ取り扱い、第三者がアクセスすることはありません。

【主な提供方法】

本研究では、患者さんの診療記録から得た匿名化データを用い、電子データとして研究責任者が管理します。情報は院内ネットワーク内で保存し、外部送信や物理的な移動は行いません。

7. 研究組織

当院のみで実施する研究です。

8. 研究代表者及び研究責任者

広島市立広島市民病院 中央手術室 看護師 富永駿

9. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。
また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院 中央手術室 看護師 富永駿